

知っておきたい 採用までの流れと ちょっとした疑問。

●「幼稚園」と「認定こども園」の違い

幼稚園は、満3歳から小学校就学前までのお子様が、さまざまな遊びを通じた教育を受け、小学校以降の教育の基礎を培うことができます。子どもが会う一番初めの学校です。お昼過ぎ頃までの教育時間のほか、園により教育時間前後や園の休業中の教育活動（預かり保育）などを実施します。なお、幼児教育に従事する職員は、「幼稚園教諭免許」を有しています。



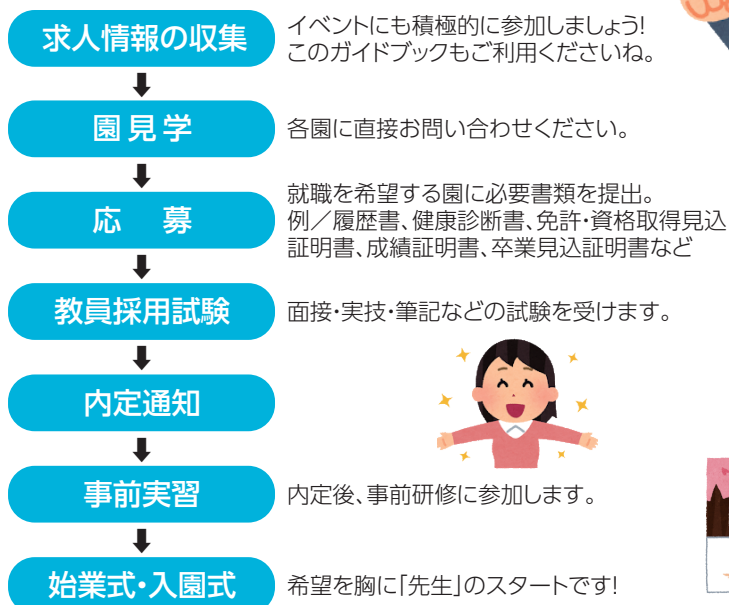
認定こども園は、幼稚園と保育所の機能や特長を併せ持つ施設で、幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型の4つの類型があります。保護者の働いている状況に関わりなく、どのお子様も学校教育・保育を一緒に受けることができ、また、すべての子育て世帯を対象に、子育て相談や親子の交流の場を提供しています。幼児教育と保育に従事する職員は、「保育教諭」又は「幼稚園教諭免許」、「保育士資格」のいずれかを有しています。

●幼稚園教諭、保育教諭になるには



文部科学省認定の「幼稚園教諭免許」を取得することが必要です。高等学校を卒業後、文部科学省が認定した大学・短期大学や、幼稚園教諭養成課程のある専門学校等で必要な単位を取得すると、卒業・修了後に各都道府県教育委員会から免許を授与されます。近年、教育と保育を一緒に行う、幼稚園と保育所の両面を併せ持った幼保連携型認定こども園が増加しています。その幼保連携型認定こども園の先生を「保育教諭」といいます。保育教諭になるには保育士資格と幼稚園教諭免許の両方が必要です。

●採用までの流れ



Q.採用試験の流れを教えてください。



A.就職希望園に書類を提出すると、書類選考、面接、筆記試験、実技試験などが行われます。筆記試験では、作文、絵、一般常識、適正判断などが見られます。実技試験を行う園も多く、ピアノや保育実習が大半です。ただし、うまくいかなくても大丈夫！大切なのは「やる気」です。

Q.内定後の事前研修はありますか？



A.実施する園は多いです。園によって研修期間、研修内容は異なりますが、行事のお手伝いをお願いしたりするケースもあります。この事前研修は、幼稚園教諭になるためだけではなく、社会人としての心構えを学ぶ期間でもあります。

Q.採用試験では何を求められますか？

A.最も重視されるのは面接です。服装、髪型なども見られますが、人柄が出る言葉づかいは大きなポイントとなります。日常生活から正しい言葉づかいを意識しておきたいですね。



Q.結婚しても働けますか？



A.近年、私立幼稚園では結婚しても活躍される教諭が増えていきます。また、産休、育児休暇なども活用し、子育てをしながら活躍される教諭もたくさんいます。結婚して一度職場を離れた方が、教諭としてカムバックされるケースも増えてきています。